

わが社のPolicy



ジャパンポリマーク株式会社
代表取締役社長 久保 浩章さん

今年30周年を迎え、当社の熱転写ラベルを使用した製品は至る所で見られるようになりました。印刷や接着の技術はもちろん重要ですが、製品を使用するのは人です。人と人との信頼関係を大切に、お客様の期待に応えるため最善を尽くし、社会に貢献できるよう「常に考えること」を重視しています。また、生産は福井に軸足を置くことに決めています。社員の勤勉さに加え、継続してきた加工や技術の積み重ねもあるここ福井で、得意なモノづくりに取り組んでいきます。

ジャパンポリマーク株式会社

本社：福井市清水杉谷町45-300
設立：1985年5月
代表者：代表取締役社長 久保浩章
事業内容：熱転写ラベルの製造販売、
熱転写機器の製造販売
資本金：6,000万円
従業員：125名
☎0776-98-2233



<http://www.polymark.co.jp/>



きらり★企業20選
ジャパンポリマーク株式会社

社名はもはや、熱転写ラベルの“代名詞”
福井の地で世界一の美しさと性能を追求。



福井大学
齋藤恭子さん



Q 事業内容を教えてください

熱転写ラベルや転写機器の製造販売をしています。当社の熱転写ラベルはスポーツウェアの新しいテクノロジーを用いた素材に対応し、その機能性を損なわない美しさと高い接着力を持っています。そのため当社の社名「ポリマーク」は熱転写ラベルの代名詞にもなっています。繰り返し使用する過酷な使用環境にも耐えられるため、航空会社や大手メーカーなどの企業用ユニホームでも広く使用されています。
高温、極寒の環境に対応する自動車サンバイザーの注意書きラベルでも、国内生産の乗用車の90%で当社製品が使用されています。

Q シェアを誇る技術面の強みはどこにありますか

数あるマークの取り付け方法の中で、熱転写ラベルは接着力、表現力ともに優れています。技術開発部では研究開発費は惜しまず、社員、試験機器を充実させ、インク、接着剤、設備を開発して技術力を磨いています。スポーツウェアでは、軽さや伸縮性、撥水性などを求めて進化する新素材および加工へ対応できる技術や、生地を傷めずに美しさを表現するインク、温度を下げても接着できる樹脂の開発など、トータルで品質を追求しています。

Q 顧客へのサポートも力を入れていますね

当社ではマークのラベルだけでなく、転写する熱転写機器も設計製作しています。販売先には世界中どこまでも出向いて、技術指導や、アフターサービスをしています。これも他社にはない、一貫した関わり方です。
「海外のお客様の工場へ、生産の立ち会いや機械のメンテで出向いています。海外だと対応が難しいところもありますが、ポリマークさんはすぐ来て、細かいところまで対応してくれ、以前より加工がよくなった」との声をいただきます」
(営業部 斉藤康文さん)

Q 働いていて自社の強みを感じますか

「製品の性能試験を担当していますが、妥協せず常に品質の向上を目指そうという思いが職場全体から感じられます。買い物に出かけた先の店頭で、自分で条件を設定して試験した製品のラベルが付いた商品が売られているのを見ると、うれしくなります」(技術開発部 前田歩美さん)
「製版の仕事をしています。この工程がよい物でないとなかなか進みません。この工程がよい物を持って仕事をしています。自社の製品が日本中、世界中で使用されていることが自信になります」
(製造部 小川絢子さん)

← ジャパンポリマークの
ココがすごい!

① 美しく
高性能なラベル



スポーツウェアでは圧倒的シェアを誇る。近年はウェアの補強や、雨天時の快適なゴルフプレーのサポートなど、機能面での活用が広がっている。

② サポート態勢



ラベルだけでなく、転写機器の販売、技術指導とアフターサポートまでを自社で展開。サービスをシステムとして提供し、他社との差別化を図っている。

取材 Report



「熱転写ラベル」という言葉は初めて耳にしましたが、木製や車など、私たちの生活にとっても身近なものだと実感しました。数多くの有名メーカーに採用されており、福井県の誇りとなる企業の一つだと思えます。多くの取引先からの信頼と実績を勝ち取れた要因は一体何なのか。会社を訪ねて感じたのは、自社の製品への強いこだわり、福井の人や環境を愛する社長の心です。社員の教育にも積極的に取り組み、家族のような温かい社風も伝わってきました。

